

最近ニュースで虐待ということを目にし、耳にします。先日も若いお父さんが赤ちゃんが泣きやまないことに腹を立てて頭を殴って赤ちゃんが亡くなったという事件がありました。亡くならないまでも親の虐待で3カ月の赤ちゃんが脳に障害を受けたりアザがあったり、また幼児が親に熱湯をかけられて大火傷を負ったりと数えてもきりがなくたくさんあります。公に報道されることしか世間には分かりませんが、その何倍もの被害にあっていると考えられます。

私は虐待といえば体への暴力が一番に頭に思いつきますが、心を傷つけるような言葉や無関心で放ったらかしである、また、私が驚いたのは、食事の世話をあまりしないという傾向が強いと知ったことです。

私は兄弟の末っ子として生まれてきました。私は普通に両親の愛情をたくさんもらって育って来ました。上の兄や姉たちにも可愛がられて今まで大きくなりました。

私は虐待された子どもたちが保護された後どうなるのか知りませんでした。

まさか私の家に里子が来るなんて夢にも思っていませんでした。

二年前に両親が里親の登録をし、認定を受けました。

児童相談所から話があり、認定を受けて2か月後、年少の女の子と男の子の姉弟とのマッチングが始まりました。マッチングとはお互いに理解していくために段階を追って家に来たり、泊まったりします。お互いが良ければ里子として措置され家庭での生活が始まります。本格的に二人との生活が始まったのは、さらに2か月後からです。二人とも色々な事情によって、幼ない時から施設で生活をしていました。

今年の夏、もう1人、年下の女の子が里子として措置され、一緒に生活をしています。この女の子は家庭で育てていましたが、事情があって保護されて我が家へ来ました。

どちらの場合も、私が想像したことも、体験したことも無い事ばかりでした。実際に、一緒に生活していると、虐待されて育ったり、施設では大切に育てられていても周りからの暖い愛情や、自分だけを見ているという安心感が乏しいのか、自己主張が強く、自分本意で大変な毎日でした。一つ例をあげると来た頃は本当に落ち着きが無く、多動で、奇声を発してふざけ、さえあがって（調子に乗って）手のつけようが無い状態でした。

私は、これからどんなになるのかと不安でした。この子達と生活を共にしていく中で、私は両親がいて、兄弟がいて、地域の人達にも見守られて生活している事が、今までは当たり前だと思っていましたが、それが本当に幸せな事だと気付きました。

今では、みんな少しずつですが周りの愛情や理解で段々と落ち着いてきています。

私は、育っていく上で環境がどれほど重要であるかがわかりました。

社会では、大人達の勝手に犠牲になる子ども達が多いと思います。子どもは親の持ち物ではありません。赤ちゃんは命と人権を持って生まれてきます。

一人一人の命と人権を尊重し、高め合う社会になったら良いと思います。

私が人権について考える事ができ、自分が幸せであると気付けたのは三人が居てくれたからだと思います。

これからも兄弟としてみんなが幸せになれるように姉という立場でかかわっていきたくと思っています。